

式辞

燕来たる。

あらゆるものがすがすが清々しく、明るく美しい「清明」と呼ばれる季節が来ました。この時期、この中央校にも燕が訪れます。燕は南の国から飛んで来て、冬はまた南へ帰るので、その訪れは本格的な春の始まりを教えてください。

この清々しい春の到来を感じさせる今日の良き日に、多久市教育委員会教育長 田原優子様をはじめ、学校運営に関わっていただいている多くの方々のご臨席を賜り、ここに多久市立東原庁舎中央校の小中一貫教育校として第9回目、そして新しい教育を目指す義務教育学校として第5回目の入学式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

さて、新一年生一〇一名の皆さん、ご入学おめでとうございます。中央校では、皆さんの入学を心待ちにしていました。

皆さんも今日のこの日をドキドキ、ワクワクしながら、待っていたことでしょう。

今年も残念ながら、新型コロナウイルス感染予防のため、体育館の中には皆さんの席しか準備していませんが、この学校は一年生から九年生までが一緒に勉強している大きな学校で、実は、皆さんのお兄さん、お姉さんに当たる上級生も、この入学式の様子をそれぞれの教室で、テレビ画面を通して温かく見守ってくれています。

想像できるでしょうか。今、学校全体、約九百名の人たちが同じ時間を過ごしているのです。すごいことですよ。とても素晴らしいことです。

いいですか、みなさん。みなさんは一人ではありません。周りを見てください。たくさんの方がいます。そしてここからは直接は見えませんが、二年生から九年生までのお兄さん、お姉さんたちがいます。

今日から皆さんを加えて、この学校が一つになって、元気いっぱい学校生活を送ってほしいと思います。

ところで、先ほどから見ていて、皆さんは話の聞き方がとても上手だなあと感心しています。

「人の話はおへそで聞こう」という言葉を知っていますか。

「おへそ」。みなさんのおへそはどこにありますか。手を当ててみてください。

そう、お腹の真ん中にある「おへそ」です。そう、そこで聞くのです。

「人の話は耳で聞くのではないの？」とへんな感じがした人もいるかもしれませんね。

「人の話はおへそで聞こう」というのは「話をしている人の方に体を向けるつもりで、その内容をしっかり正面から受け止めよう」という意味です。

そういうしっかりとした聞き方が皆さんできていますね。これから学校で一緒に勉強していきますが、その基礎・基本がしっかり身につけている証拠です。

これからも、先生の話、友達の話を中心に「おへそ」で聞ける人になってください。これができさえすれば、全てうまくいきます。逆に、人の話がきちんと聞けない人は、なにをやってもうまくいきません。

「聞き上手は勉強上手」と言います。きっと皆さんは「勉強上手」になれると思います。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。これまで、手塩にかけて育ててこられた、大切なお子様を九年間本校でお預かりいたします。私たち職員は総力を挙げ、お子様方一人一人にしっかりと寄り添い、責任をもって、教育に当たることをお約束いたします。

本校は、優れた職員を揃えております。私たちは「全ての子どもたちを、全ての職員で見る」ということをモットーにしています。何かあれば、どの職員でも構いませんので、遠慮なくご相談ください。

そして、先ほども申しあげましたように、本校は義務教育学校として九年間を貫いた教育を実践しています。この九年間を一年生から四年生までの低学年ブロック、五年生から七年生までの中学年ブロック、そして八年生、九年生の高学年ブロックという、4・3・2というくくりの中で教育活動を進めています。

九年間という少し長い気もされるでしょうが、低学年ブロックの完成期である四年生で「二分の一成人式」、中学年ブロックの完成期である七年生で「立志式」、そして九年生の「卒業式」といった具合に、成長を振り返る大切な行事を要所、要所で行うこととしています。お子様方の健やかな成長をそうした場でお感じいただければと思います。

また、特に義務教育段階においては、学校と家庭と地域とがしっかりと手を取り合いながら教育に当たることが大事です。

家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる。本校は、「地域とともにある学校」、いわゆる「コミュニティスクール」でもあり、地域の方々にどんどん参加していただく学校運営を進めてまい

ります。

つきましては、各御家庭におかれましても、「早寝・早起き・朝ごはん」など、学習を下支えする生活習慣の確立にむけ、その役割を担っていただきますよう、よろしく願いいたします。

では最後にもう一度、一年生の皆さんにお話しします。

一年生の皆さん、この学校の名前は何と言いますか。

そう、「東原庠舎中央校」です。

「庠舎」とうのは「学校」という意味です。これはずっと昔、多久にあった学校の名前から付けられたものです。そのころ、この学校で勉強した人たちの中から、日本で大活躍するとともに偉い人が何人も育っていきました。

皆さんたちの多くは、きっと二十二世紀を見ることになるでしょう。そのころはどんな世界になっているのでしょうか。

そんな未来に向かって、この学校で一生懸命勉強して大きく羽ばたいて行ってください。

入学おめでとう。今日から一緒に頑張りましょう。

令和三年四月九日

多久市立東原庠舎中央校
校長 下村 昌弘